

# 亜細亜大学 ミクロ経済学II(再) 第五回 小テスト

担当 上條良夫

2010/11/5

## 約束事

- 計算過程、解答は必ずノートに黒のボールペンかシャープペンで書く。
- 切り取り線から下は、最後に回収するので、余白に解答等を書かない。
- 切り取り線の下を表には、解説をきいて、正解した問題には  $\square$  を、間違った問題には  $\times$  を書く。
- 解説の内容は、必ずノートに赤のボールペンで写す。
- 定期試験の問題は、小テストの内容に基づいて作成するので、小テストは必ず保管すること。
- 小テストの解答・解説をプリントして配布する予定はないので、しっかりとノートの写すこと。

■ 以下の (1), (2), (3), (4) の独占の例に対して、独占企業として存続できる理由として適切なものを (a), (b), (c), (d) より選びなさい。

- (a) 少数の資源や生産要素の支配
- (b) 規模の経済性
- (c) 技術的な優位性
- (d) 政府の作り出した参入障壁

- (1) 郵便事業の日本郵政グループによる独占。
- (2) 19世紀後半、ダイヤモンド生産はある企業により独占されていた。
- (3) 製薬会社は抗 HIV 薬の製造・販売を独占的に行える。
- (4) 90年代、ほとんどのコンピュータの CPU はインテル製であった。

■ ある財を独占している企業について、以下の問いに答えなさい。ただし、当該財の市場需要曲線は  $p = 10 - q$  であり、企業は財一単位を 3 の費用で生産することができる。

- (5) この企業が、財の供給量を 4 としたとき、そのときの価格はいくらになるか。
- (6) (5) のケースで、企業の財の生産費用はいくらか。
- (7) (5) のケースで、企業の利潤はいくらか。
- (8) 企業が財を  $q$  単位供給するときの、企業利潤  $\pi$  を  $q$  を用いて表せ。

切り取り線

ミクロ経済学II(再) 小テスト 第五回 2010/11/5

学年 \_\_\_\_\_ 学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

|     |     |     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) |
|     |     |     |     |     |     |     |     |